

2024 年に北海道で発生した森林病虫害

和田尚之・内田葉子

はじめに

森林や街路樹ではしばしば害虫や病気が発生することで、樹木の成長に悪影響を与えたり、時には枯死させたりします。北海道で発生した森林病虫害の情報は、これまで「森林防疫」や「北方林業」、「森林保護」などの雑誌で報告されてきましたが、各誌の休刊等に伴い 2013 年を最後に報告が途絶えていました。病虫害発生情報は北海道が公表している「北海道森林保護事業実績書」にも報告されていますが、こちらは大規模な発生が中心で小規模な発生記録が残っていませんでした。そこで、今回から毎年、病虫害の発生情報を本誌に報告することにしました。

今回は、2024 年に林業試験場で発生を確認した森林病虫害を紹介します。本報での発生情報は、林業試験場で確認したもの、北海道水産林務部森林海洋環境局森林海洋環境課から寄せらせた情報、林業試験場に直接連絡のあった情報を集約したものです。そのため、発生情報には地理的な偏りがあることご留意ください。発生情報は、本報のほか「北海道森林保護事業実績書」にもまとめられていますので、そちらも参考にしてください。

森林害虫の発生状況

2024 年に確認された主な森林害虫の発生状況を表-1 にまとめました。

表-1 2024 年の主な森林害虫発生状況

	被害樹種	発生市町村	確認時期	備考
マイマイガ	カラマツ	蘭越町	6月	
	カラマツ, カンバ類	当別町	6月	
	ヤナギ類	南幌町	6月	
	カエデ類, カンバ類	留萌市	6月	
	カラマツ, 広葉樹	<u>北竜町周辺</u>	7月	
	カラマツ	芦別市	7月	
	カラマツ, 広葉樹	苫前町	7月	
カラマツマダラメイガ	カラマツ	<u>上士幌町</u>	10月	被害面積 約300ha
カシノナガキクイムシ (ナラ枯れ)	ナラ類	松前町	8～11月	被害本数 133本
	ナラ類	福島町	9～11月	被害本数 38本
	ナラ類	知内町	8～11月	被害本数 11本
キアシドクガ	ミズキ	<u>ニセコ町</u>	6月	
アメリカシロヒトリ	広葉樹	<u>函館市周辺</u>	9月	

激害（林内の大半が被害を受けた状態）がみられた市町村を太字・下線で示す。被害量は速報値。

人工林で発生した害虫

2024 年は、造林樹種への被害としてマイマイガとカラマツマダラメイガの発生が確認されました。このうち、マイマイガは例年よりも被害規模が大きくなっています。マイマイガは初夏にかけて幼虫が樹木の葉を食べます。非常に多くの樹種を加害することが知られており、造林樹種ではカラマツを、広葉樹ではカンバ類やヤナギ類、ナラ類、サクラ類などを好んで食害します（写真-1）。マイマイガによる

食害は、カラマツ林での激害報告が後志管内で2022年から続いていました。2024年も後志管内の蘭越町で食害を確認しましたが、これまでのような大規模な被害ではなく、幼齢林の半分程度の葉が食害されているものでした。一方で、2023年まで目立った被害が確認されていなかった北空知で大規模な食害が発生しました。北竜町では、ほぼすべての葉が食べられたカラマツ林が多数みられたほか（写真－1）、周辺市町村でも被害を受けて樹冠が茶色く見えるカラマツ林が散見されました。旭川市、芦別市、留萌市、当別町、苫前町のカラマツ林でも食害を確認しているほか、南幌町の河畔林でもヤナギ類の食害がみられています。一方で、林業試験場のある美唄市や日高管内（平取町、新冠町）、渡島管内（木古内町）などでは目立った被害は確認できませんでした。ただし、林業試験場構内では多数のマイマイガの飛翔と卵塊を確認しており、美唄市近郊では2025年の被害が懸念されます。

カラマツマダラメイガは9月～10月頃にカラマツの葉を食害し、幼虫が葉や枝を糸で綴り合せながら加害するのが特徴です。上士幌町では、速報値として約300haものカラマツ林で被害が確認されました。2023年にも上士幌町のカラマツ林で激害報告があり、同町周辺では継続して被害が発生していると思われます。

天然林・都市域で発生した害虫

人工林以外での被害では、ナラ枯れが急増しています。ナラ枯れは、カシノナガキクイムシがナラ類やシイ・カシ類の幹に穿入し、その際に病原菌を持ち込むことで樹木が枯死する被害です。北海道ではミズナラなどが被害を受けやすく、被害木は8月頃から葉が褐変して枯れ、地際部にはクイムシが排出したフラス（木屑と糞が混ざったもの）が堆積します（写真－2）。2023年に北海道で初めて15本の被害木が道南で確認され、2024年には10倍以上の182本に増加しています（2024年11月15日時点）。また、被害発生市町村も増えており、2024年には松前町・福島町に加え、知内町でも初めて被害が確認されました。木古内町では被害木は見つかりませんが、2024年にカシノナガキクイムシが捕獲されています。

また、一部地域にて、キアシドクガとアメリカシロヒトリの大発生も確認されています。キアシドクガはミズキの仲間の葉を食べる昆虫です。ニセコ町の天然林において、ミズキのほぼすべての葉が食べられていました（写真－3）。アメリカシロヒトリは日本の侵略的外来種ワースト100にも指定されている蛾の仲間で、北海道では主にプラタナスやサクラ類などの広葉樹の葉を食べます。函館市近郊で大発生し、8月～9月にかけて街路樹などで葉が食べつくされ丸裸になる被害が確認されました。

そのほか、表にはまとめていませんが、札幌市のエゾエノキにヒモワタカイガラムシの発生がありました。また、樹木への被害は確認されていませんが、札幌市や滝上町においてクスサンの成虫の目撃情報が寄せられています。



写真－1 マイマイガによる食害被害

左: カラマツ激害林（北竜町 7/18）、右上: ツノハシバミ被害木（北竜町 7/18）、右下: マイマイガ（蘭越町 6/27）



写真-2 ナラ枯れ被害

被害木は葉が褐変して枯死し（左: 知内町 9/13, 右上: 松前町 9/24），地際部には虫が排出した木屑と糞が混ざったフラス（矢印）が堆積する（右下: 福島町 9/24）



写真-3 キアシドクガと被害木

中央の枯れ木に見えるのが被害にあったミズキ（ニセコ町 6/12）

病害の発生状況

2024 年に確認された主な病害の発生状況を表-2 にまとめました。

表-2 2024 年の主な森林病害発生状況

	被害樹種	発生市町村	確認時期	備考
カラマツ落葉病	カラマツ	厚真町	9月	
	カラマツ	深川市	9月	
	カラマツ	<u>中札内村</u>	10月	被害面積 約13ha

太字・下線は激害（林内の大半が被害を受けた状態）がみられた市町村。被害量は速報値。

大規模な被害としては、中札内村の 3 齢級カラマツ林約 13ha（速報値）で「カラマツ落葉病」の発生がありました（写真-4）。カラマツ落葉病はカラマツ類の葉が早期落葉してしまう病気で、5 月～7 月に雨や霧の日が多いと発生しやすくなります。深川市や厚真町でもまとまった被害を確認しています。一方、被害発生時期である 9 月頃に訪れた置戸町、津別町、豊頃町、大樹町では目立った被害を確認できませんでした。

このほか、石狩市の 10 年生トドマツ人工林で立ち枯れ木が発生し、枯損木からは「トドマツがんしゅ病」の感染がみられました。また、共和町で「サクラ類さめ肌胴枯病」とみられる胴枯れ症状を示したソメイヨシノの枯損相談もありました。



写真-4 カラマツ落葉病（厚真町 9/19）

早期落葉した罹病葉が地際部に堆積している

（保護種苗木部保護グループ）